

AIの説明を、図と計算で確かめる

小学4年 算数・面積 | 45分 | AIへのログイン不要

ねらい・準備

長方形の面積を、 1cm^2 がいくつ入るかで説明する。自然な文章でも正しいとは限らないと気づき、根拠を示して直す。方眼紙、鉛筆、児童用2ページを用意。

授業の流れ（計45分）

0～5分：たて4cm・よこ6cmの長方形を方眼紙に描き、まず一人で面積を求める。

5～13分：児童用の説明A・Bを読み、賛成する説明と、確かめたい部分に印を付ける。

13～25分： 1cm^2 を数え、式・図・単位を対応させる。ペアで「4と6は何の数か」を説明する。

25～35分：Aを自分の言葉で書き直す。答えだけを24に変えた場合は理由も加える。

35～42分：たて3cm・よこ7cmで確かめ、 $3\times 7=21\text{cm}^2$ を図と式で説明する。

42～45分：文章のどの部分を、何で確かめたか振り返る。

想定する考えと教師の問い返し

「 $4+6$ で10」→「長さを足した数で、正方形の数を数えられる?」。「 6×4 」→「横の6個が何段? 1個の広さは?」。単位がcmなら「数えたのは長さ、それとも広さ?」。

解答・見取り

Aは誤り。 $4+6$ は辺の長さを足しており、面積にならない。Bは正しい。 1cm^2 が横6個、縦4段で24個、面積 24cm^2 。数と単位、 1cm^2 の並びを結び付けて説明できるかを確認する。

比較文は編集部が作った教材用の例。実際のAI出力や、三重県内の学校で実施した授業の記録ではない。授業効果は未検証。

二つの説明を、図で確かめよう

学年：____年 組：____組 名前：_____

たて4cm・よこ6cmの長方形です。まず、ノートや方眼紙に図を描き、面積を求めましょう。

1 自分の予想と式

説明A：4+6=10だから、面積は10cm²です。

説明B：1cm²の正方形を横に6個、縦に4段並べると24個。面積は24cm²です。

この二つは、正しいか確かめるために作った例文です。まちがった説明も入っています。

2 どちらに賛成？ 何を使って確かめた？

3 説明Aを、理由が伝わるように書き直そう

4 たて3cm・よこ7cmなら？ 図と式で確かめよう

5 文章を読むだけでは、決められなかったことは？

「書いてあること」と「付け足したこと」

小学5年 国語・情報の読み取り | 45分 | AIへのログイン不要

ねらい・準備

原文に戻って日時・場所・条件を照合し、根拠のない情報を付け足さずに要約する。児童用4ページ。案内文は三重の地域交流を題材にした架空の教材で、実在の催しではない。

授業の流れ（計45分）

0～5分：原文だけを読み、「いつ・どこ・何をする」を一人で抜き出す。

5～15分：紹介案を読み、原文と同じ部分・違う部分・原文にない部分に印を付ける。

15～27分：ペアで原文の根拠を示す。「書いていない」と「まちがっている」を区別する。

27～37分：原文にある内容で、二文の紹介を書き直す。勝手に費用や雨天時の扱いを決めない。

37～42分：参加前に主催者へ確認したいことを一つ書き、その理由を説明する。

42～45分：要約で省いてよい情報と、変えてはいけない情報を振り返る。

解答例・判断の根拠

開始9時は誤り（原文は10時）。場所「校庭」も誤り（原文は集会室）。「参加費無料」「雨なら中止」は記載なしで判断できない。11月12日、町紹介カードを作ることは原文と一致。

書き直し例：11月12日10時から11時に、集会室で「みえの町交流会」があります。町紹介カードを作るので、色鉛筆を持ってきてください。

見取りと支援

どの語句を根拠に判断したかを見取る。迷う子には、原文の日時・場所へ下線を引かせる。「原文にない＝必ず反対が正しい」ではなく、確認が必要と説明する。

原文・紹介案とも編集部の創作。実際のAI出力、自治体の告知、実践報告ではない。学習効果は未検証。

お知らせと紹介案を、比べよう

学年：____年 組：____組 名前：_____

原文（架空のお知らせ）

11月12日、10時から11時まで、集会室で「みえの町交流会」を開きます。町紹介カードを作ります。色鉛筆を持ってきてください。

紹介案（確かめるために作った例）

11月12日9時から、校庭で「みえの町交流会」があります。町紹介カードを作ります。参加費は無料で、雨なら中止です。

実在の催しのお知らせではありません。紹介案には誤りや、原文にない情報も含めています。

1 原文と同じところ・違うところを一つずつ

2 原文だけでは決められないことと、その理由

3 原文をもとに、二文で紹介を書き直そう

4 参加前に確認したいことを一つ書こう

AIへ頼む前に、入力内容を見直す

小学5・6年 総合等での活用案 | 45分 | AIへのログイン不要

ねらい・準備

助けてほしい目的と、入力しなくてよい個人情報を分ける。名前を消すだけで十分とは限らないと考える。
児童用6ページ。実在の個人情報や相談記録は使わない。

授業の流れ（計45分）

0～5分：AIに何を手伝ってほしいかを確認。「係の話し合いの進め方」が目的と整理。

5～15分：架空の入力案から、目的に必要な情報と省ける情報に線を引く。

15～25分：ペアで、名前だけ消せば十分か話す。学級・出来事の組合せでも人が分かる場合を考える。

25～35分：実在の人の話を送らず、一般的な場面の依頼へ書き直す。

35～42分：個人的な困りごとを送る前に、先生や家族へ相談する選択肢も確認する。

42～45分：入力前に見る点を一つ、自分の言葉でまとめる。

書き直し例・残す情報の理由

「小学生の係活動で、意見が分かれたときの話し合いの進め方を三つ提案してください。相手の考えを聞く時間を入れてください。だれが悪いかは決めないでください。」目的に合う学習場面だけを残し、実在の学級・人・相談記録を送らない。

見取り・教師の確認

省いた情報と、その理由を説明できるかを見取る。名前を仮名にするだけで安全が保証されるわけではない。本教材はログインを必要としない。実際にAIを使う場合は所属先の規程、利用サービスの年齢条件等を別途確認する。

学校での利用条件の参照先：文部科学省「学校現場における生成AIの利用について」

<https://www.mext.go.jp/zyoukatsu/ai/>

編集：みえ先生ラボ <https://miesenseilab.com/ai/education/> 授業効果は未検証。

入力する前に、必要な情報を選ぼう

学年：____年 組：____組 名前：_____

架空の入力案（実際に送らないで考えます）

「5年2組で係をしています。友達の名前と、昨日の相談メモを全部貼ります。係の意見が合わないので、だれが悪いか決めて、話し合いの進め方も教えてください。」

これは教材のために作った文です。自分や友達の実際の名前・学級・相談内容を、この用紙の答えとしても書かないでください。

1 手伝ってほしい目的は何だろう？

2 送らなくてよい情報と、送らない理由

3 実在の人の情報を入れず、依頼を書き直そう

4 名前だけ仮名にしたら、必ず安心と言える？

5 困ったとき、だれに相談する？
